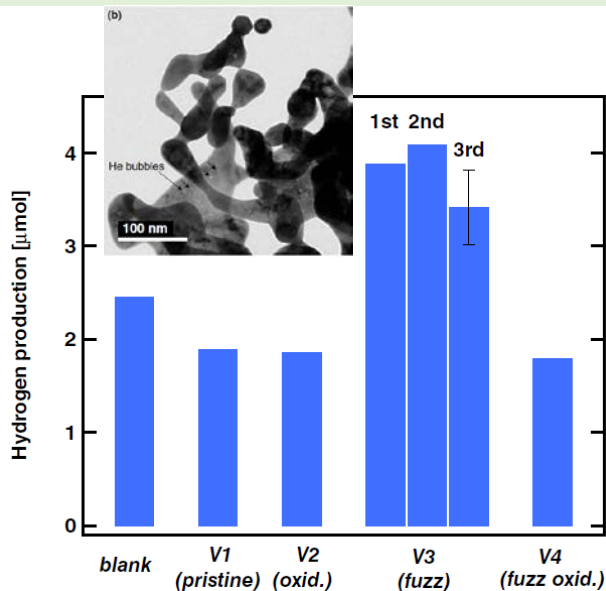
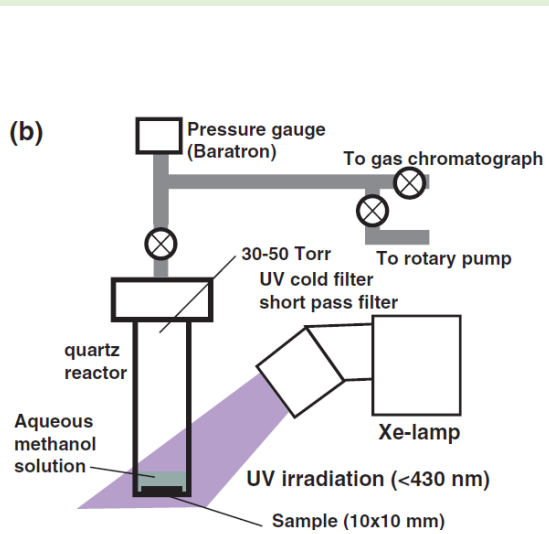


大阪市立大学人工光合成研究拠点
共同利用・共同研究課題成果

2016年度：プラズマ照射金属酸化物の光触媒活性評価

2018年度：プラズマ照射による高活性金属酸化物光触媒の創製

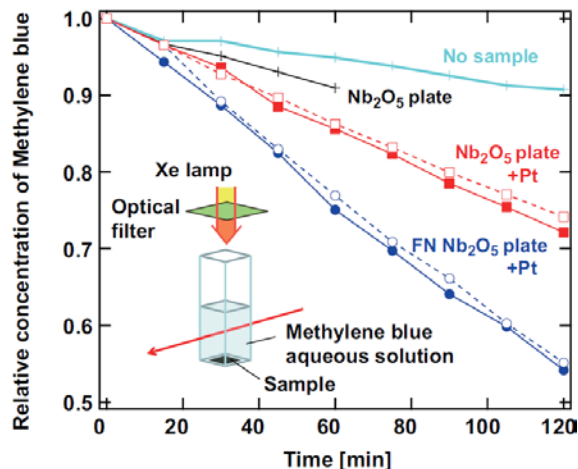
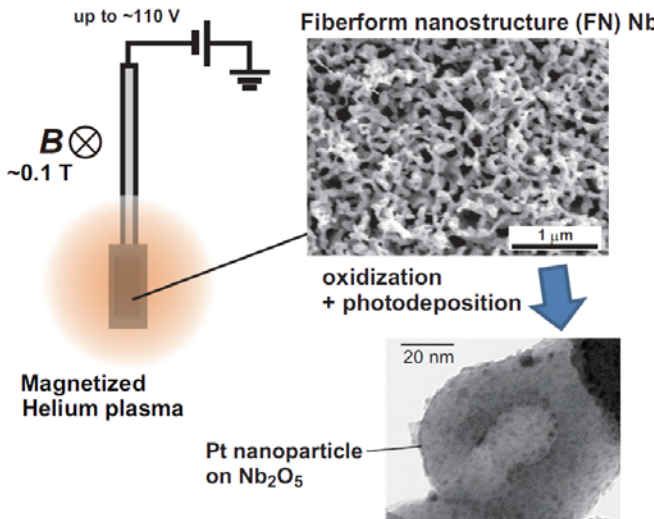
研究代表者 梶田信



○2016年度：プラズマ照射金属酸化物の光触媒活性評価

- ・酸化チタンのプラズマ照射による光触媒活性の向上
- ・プラズマ照射による酸化バナジウムの光触媒活性の出現。

S Kajita, T Yoshida, N Ohno, T Ishida, D Kitaoka, Japanese Journal of Applied Physics 55 (2016) 106202.
S Kajita, T Yoshida, N Ohno, Y Ichino, N Yoshida, Journal of Physics D: Applied Physics 51 (2018), 215201.



○2018年度：プラズマ照射による高活性金属酸化物光触媒の創製

- ・Nbのプラズマ照射によるナノ構造化に成功。
- ・Pt担持により、光触媒（メチレンブルーの脱色化）の活性向上。

S Kajita, F Mimuro, T Yoshida, N Ohno, N Yoshida, ChemPhysChem 19 (2018), 3237-3246.